

岩下方平関係資料目録

吉満庄司

はじめに

黎明館では、平成一七年五月一七日から八月一〇日まで企画展「渡航一四〇年記念 薩摩藩英国留学生」を開催した。同展では慶応三（一八六七）年に薩摩藩が参加したパリ万博についても紹介したが、その準備の過程で薩摩藩の万博使節団の団長を務めた家老岩下方平の写真をご子孫が所蔵していることを知り、借用・展示させていただいた。

岩下方平の写真については、これまで最晩年に撮られたと思われるものがよく知られており黎明館の常設展示でもこれを展示していたが、幕末に世界を舞台に活躍した若き薩摩藩家老を紹介する写真としては今ひとつイメージにそぐわない感があった。それに対して、今回の写真はパリ万博でフランスに渡った際にパリのスタジオで撮影した方平が最も輝いていた時代のものである。



岩下方平

展覧会終了後、その写真は岩下長十郎（岩下方平の長男でパリ万博に同行しそのままフランスに私費留学）と、岩下方美（岩下方平の一族でパリ万博に使節団の一員として参加）の写真も併せて黎明館に寄贈された。



岩下長十郎③



岩下長十郎①



岩下方美①



岩下長十郎②



岩下方美②

さらに、その後岩下家の資料を追加調査させていただく中で、岩下方平宛の書簡を中心に三九五点の文書が残されていることが判明し、一括寄贈を受けることになった。

岩下方平は小松帯刀や桂久武と並んで幕末に薩摩藩を代表して国事に奔走した家老であり、薩摩藩の明治維新史を研究する上で極めて重要な人物である。その関係資料が一括して黎明館に寄贈された意義は極めて大きい。このたび資料の整理が終了し、資料の目録が完成したのでこれを公開し、併せて今回寄贈者である岩下方夫氏からの聞き取り調査や資料整理や目録作成の作業を進める中で判明したことなども紹介する。

一 岩下方平について

岩下方平は、文政二〇（一八二七）年三月一日、鹿児島城下上加治屋町に生まれ、天保二三（一八四二）年五月に家督を継いでいる。岩下方の家格は寄合で、城下士のうちでも上士にあたる家柄である。

「岩下方平小伝」（鹿児島県立図書館蔵、手書き原稿写し）によると、「幼より読書を好み和学をたしなみ、人となり寡言沈毅にして大量あり」「経綸の材に富み、傍ら韜鈴の学に通じ」とある。嘉永朋党事件・安政の大獄後に西郷・大久保らが中心となって結成した精（誠）忠組においては、家格の高さということもあってその首領に推され主導的な役割を担った。

文久元（一八六一）年、側用人兼軍役奉行となり、翌文久二年には島津久光の率兵上京に続いて士卒三〇〇余名を率いて上京している。ついで江戸詰側用人となり、薩英戦争後の講和会議にあたっては、談判正使として横浜へ赴き、イギリス代理公使ニールと交渉を行った。慶応元（一八六五）年には大目付、さらに家老に進み、翌二年の長州再征にあたっては、幕府の出兵命令に対しこれを拒絶した。

慶応三（一八六七）年のパリ万国博覧会の開催にあたって、薩摩藩は

幕府とは別に単独で「薩摩琉球国太守政府」の名義で参加するが、岩下方は薩摩藩の使節団を率いてフランスに渡航した。

薩摩藩が使節団の顧問に雇ったフランス貴族モンブラン伯爵とのやりとりや幕府使節との激しい論議については、幕府の使節団の一員として渡航した経歴を持つ田辺太一が明治三九年に史談会で口述した内容が『史談会速記録』に掲載されており、その顛末を窺い知ることができる。

『薩摩海軍史』（公爵島津家編纂所編）には全文が転載されており、近年ではこれらをもとに高橋邦太郎氏が『ちょんまげ大使 海を行く』（新人物往来社）などで詳しく紹介している。特に、モンブランの発案で作成され各国高官等に配られたとされる「薩摩琉球国勲章」は、我が国最初の勲章と位置づけられており、その現物は現在二点のみ（尚古集成館蔵、指宿白水館蔵）が確認されている。なお、パリ万博時における薩摩側の史料は、『薩摩海軍史』にも「博覧会の件に就ては、薩摩の記録は散佚して見るに能はず」と記されているようにほとんど残っていない。その他「玉里島津家資料」に、パリの岩下方平が慶応三年三月十一日付で国元の小松帯刀に宛てた書簡が一通存在する程度である。なお、フランスからの帰朝の際の日記は「岩下方平航海日記」として『薩摩海軍史』に収載されている。

パリ万博から帰国後、岩下方は直ちに藩主島津忠義に従い上京し、王政復古にあたっては、一二月九日薩摩藩を代表し西郷隆盛・大久保利通と共に徴士・参与に任ぜられた。維新後は、明治元（一八六八）年二月二〇日外国事務掛、五月二日大阪府判事、十一月三〇日刑法官出仕、翌二年五月一日留守次官を仰せ付けられ、同年九月二六日永世祿千石を下賜された。明治三年正月八日には京都府権知事を拝命するが、赴任後ま

もなく東京出張を命ぜられ東京府貫属となる。その後、明治四年四月二日大阪府大参事を経て、同一一年五月九日元老院議官に就任。明治一四年には神官教導職会議議長兼副総裁に就任、同二〇年に子爵を賜わり、同二三年に貴族院議員となり、明治三三年八月一五日、七四歳の生涯を閉じた(『百官履歴』内閣修史局編)。

以上、岩下の経歴について見てきたが、人名辞典の類を見てみると、基本的な部分で誤りや不明な点が多いのに気づく。そうした点について、整理してみる。

まず、父親の問題であるが、『明治維新人名辞典』(昭和五六年、吉川弘文館)や『鹿児島県姓氏家系大辞典』(平成六年、角川書店)には岩下典膳・道格の子と記されている。『国史大辞典』(昭和五四年、吉川弘文館)や『鹿児島大百科事典』(昭和五六年、南日本新聞社)には父親の名前は記されていない。「岩下方平小伝」は、「父を某と云う」とあえてぼかした表現をしている。

岩下家の系図や「薩陽武鑑」(尚古集成館蔵)によると、典膳・道格(父岩下方泰、宝暦一三年生まれ、文政二年御趣法方掛御用人、天保五年大目付、天保七年御側詰、同一五年依頼退役、没年不明。妻枝一土師孫太夫の長女)の長男が亘・道朗(寛政一一年生まれ、天保七年御側御用人、江戸留守居役として在勤中に死亡、高輪大円寺に葬る。妻はや一島山式部の次女)で、道朗の長男が方平となっている。

亘・道朗は正式に家督を相続していなかったため、方平が典膳・道格から家督を継いだことになり、その実子のように思われてきたのである。『昭和新修華族家系大成』(昭和五七年、霞会館)には典膳から方平に家督相続を示す線が引かれ、方平には岩下亘長男という傍書きがされ

ている。

次に名前「方平」の読みの問題であるが、『明治維新人名辞典』・『国史大辞典』・『鹿児島大百科事典』をはじめ多くの人名辞典は「まさひら」としており、『鹿児島県姓氏家系大辞典』は「みちひら」と表記している。方夫氏の話によると、岩下家では代々「方」は「みち」と読み習わすようになっていたことと、『昭和新修華族家系大成』にも「みちひら」のルビが振られている。なお、『海を越えた日本人名辞典』(昭和六〇年、日外アソシエーツ株式会社)には、典拠のある読みとして「みちひら」を採用している。

もう一点、これまで混乱しがちであった事項に「岩下方美」との関係が挙げられる。『明治維新人名辞典』は方平の諱を「方平・方美」と併記しており、『三百藩家臣人名事典』(昭和六十二年、新人物往来社)も、岩下方平を「名は方平・方美、通称佐次右衛門・左二」としている。一方、『幕末維新人名事典』(平成六年、新人物往来社)では、方平の長男長十郎の諱を「方美」としている。内容の正確さに定評がある『鹿児島県史』(昭和一六年、鹿児島県)ですら、「かくて、博覧会のために家老岩下方平・側役格市来政清が派遣される事となったので、随員には野村盛秀・渋谷彦助・岩下清之丞・蓑田新平・白川健次郎・堀孝之・大工鳥丸啓介・英人ハリソン・同ホーム・留学生岩下方美(方平の男、長十郎)が加わり、十一月十日、一行は英船によって鹿児島を発し、翌三年正月二日、巴里に着いた。」と、清之丞と方美は別人として扱い、方美と長十郎とを同一人物としている(傍点は筆者)。

方美は、方平・長十郎親子とは全くの別人で、同じ岩下家の一門であるが、直接の血縁関係はない。先祖を辿ればおそらくどの時点かで繋が

るものと思われるが、現在のところ不明である。

岩下方美は、文化九（一八二二）年一月二十八日、吉左衛門・道秋の子として生まれ、幼名を加八郎、正之丞（清之丞）・方美といい、通称は孫右衛門であった。こちらも「みちよし」と「方」を「みち」と読むのが正しいということである。方平の家系が代々「佐次右衛門」を称したのに対し、方美の家系は代々「孫右衛門」を名乗ったという。慶応三（一八六七）年に開催されたパリ万博には方平と共に使節団の一員として参加したが、一行を率いた青年家老岩下方平にとって一族の年長者の方美の存在は極めて心強く思ったことであろう。維新後の動向は不詳であるが、明治二八（一八九五）年三月三〇日に八三歳で亡くなったとされる。

二 資料の概要と伝来の経緯

岩下方平の長男長十郎は、一五歳でフランスへ留学し、帰国後は陸軍大尉となり将来を嘱望されていたが、明治一三（一八八〇）年八月に不慮の事故により二七歳で早世しており、岩下家の家督はその長男家一に譲られた。家一は実業界に身を投じ、国費留学生としてスイスにホテル業を学びに行き、帰国後は中国の大連や長春にホテルを建設し、国内では丸ノ内ホテル・逗子ホテル・新橋第一ホテル等を建て、その経営にあたった。

家一氏には男子が無く、晩年まで同居して面倒をみた三女の渡辺菊江氏が資料も保管するところとなった。菊江氏は昭和四四年には「方平七〇回忌、長十郎九〇回忌」を開催し、広く岩下家一族に声をかけ「千石会」なる親睦会を作るなどして岩下家の歴史を後世に残す努力をされた

が、平成六年に七一歳で亡くなられた。

その後、このたびの寄贈者である岩下方夫氏が資料を引き継いだ訳であるが、方夫氏は岩下方美の系統に当たる人物である。両家は同じ岩下一族として現在でも親交があり、方平の系統の男子が途絶えたため方夫氏が資料を引き継がれた。方夫氏は、これらの資料を整理・保管する傍ら、独自で調べたことなどをもとに、私家版の『岩下一族とその歴史点描』（平成一五年）、『岩下家の記録』（平成一七年）等をまとめられており、その作業がひとまず終了したということで、「一族の同意を得て今回の一括寄贈の運びとなった次第である。」

さて、今回寄贈になった資料は全部で三九五点であるが、黎明館では受入れにあたって、岩下方平宛書簡（三〇九点）と第三者間の書簡・宛先不明書簡・その他の文書（八六点）に分類し、それぞれ名簿順に並べて目録を作成した。ただし、宛先が明記されていなくても内容などから岩下方平に宛てられた書簡であると断定できるものは前者に分類し、岩下方平宛と想定はできないもの確定できない書簡類については後者に分類した。

資料は大半が「維新史編纂会」の朱印あるいは「東京市麹町区三年町維新史料編纂事務局」の印の押された封筒に入れられ、さらに国立国会図書館の封筒に入った状態であった。ただし、数点ではあるが直に国会図書館の封筒に入れているものと、普通の封筒に入れられたものが存在する。岩下方夫氏によると、昭和四〇年代に当時国会図書館の憲政資料室におられた大久保利謙先生に資料を見ていただいたことがあり、その際憲政資料室の方で資料の仮目録を作成してもらったということであった。維新史編纂会の方は、おそらく岩下長十郎の遺児である家一氏

の代に同会の求めに応じて提供したものと想定される。すなわち、本資料群は戦前に維新史編纂会、戦後国会図書館憲政資料室に一時預けられ、都合二回研究者の目に触れたことになる。直接国会図書館の封筒に入っている資料については、維新史編纂会の調査の際に洩れたもので、憲政資料室の調査の際に初めて確認されたものと考えられる。その後さらに発見された資料数点が普通の封筒に入れられたものと思われる。

資料の年代は、大半が年号は記されておらず今後年代比定の作業を要するが、年号記載のものだけを取り上げてみると、明治元(慶応四)年一月一五日(市来六右衛門書簡)から明治一七年三月一七日(松浦詮書簡)が確認され、就中明治元年から六年頃までに集中していることがわかる。この時期(明治元～六年)の書簡の差出人に注目すると、西郷従道・重野安繹・吉井幸輔といった鹿児島出身者が圧倒的に多い。ただし、当初相当数存在したと思われる西郷隆盛・大久保利通の書簡は一点も残っていない。ちなみに『西郷隆盛全集』(昭和五五年、大和書房)には、岩下方平宛西郷隆盛書簡が三点、西郷隆盛宛岩下方平書簡が七点収載されている。一方、『大久保利通関係文書』(昭和四一年、吉川弘文館)には、大久保利通宛岩下方平書簡として一二三点が挙げられており、これに相応する量の大久保利通からの書簡も存在したと想定できる。西郷隆盛との書簡の往来も同様に頻繁に行われたものと考えられる。

岩下方平関係資料のもう一つの特徴は、公家関係が多いということである。同時期の藩士の資料と比較すると圧倒的に公家からの書簡が多い。それは、西郷が主に他藩との交渉や調停を担当したのに対し、岩下は薩摩藩の家老として朝廷とのパイプ役も担っていたことによるものと思われる。その点では、藩を代表して幕府との交渉に当たった家老小松帯刀

等とともにきちんと評価しなければならぬであろう。ただし、大久保利通は例外的に下級貴族の岩倉具視と密接な関係を持っており、大久保利通関係資料には岩倉の書簡が大量に含まれている。

明治一〇年代になると元老院関係の事務連絡などが目に付く。岩下は維新政府発足当初、西郷・大久保と並んで薩摩藩を代表し徴士・参与となり、政府の中心で重要な役割を果たした。ところが、次第に自身の在外経験や外交活動から得た知識や教訓に基づき、新政府の採用する性急・無批判な欧化政策などを批判する言動が目立つようになった。故に岩倉具視―大久保利通―伊藤博文という政局の中枢からは疎外されるようになり、新設された元老院や貴族院といういわば名誉職に祭り上げられていったと考えられる。

このことについて、佐々木隆氏は「岩下方平随想録」(『日本歴史』第四百三十三号、一九八四年六月号、吉川弘文館)において、明治政府内における岩下の立場について、「賞典禄千石というのは、西郷・大久保・木戸のいわゆる「維新三傑」につくもので、維新当初の岩下の政治的地位の高さを窺うことができるが、政局は大久保・木戸から黒田清隆・伊藤博文らを中心に展開され、明治中期においては岩下は次第に政権の中枢からは阻害され元老院議員・貴族院議員に陞にとどまった。」とし、元老院の存在を「幕末・維新の功臣、藩閥傍流の実力者、中堅官僚などが混在しており、名誉職的性格と人材の一大供給源としての性格が表裏を成していた。そこには、不満と上昇志向とが交錯していたと思われる。」と分析している。

最後に、資料整理・目録作成の作業を進める中で、これまで人名辞典の類には全く紹介されていなかった岩下方平の雅号を三種類確認するこ

とが出来たので紹介しておく。親しい相手からの書簡には宛名や差出人が雅号で記されているものも多く、整理作業にはたいへん手こずったが、その中で書簡の内容などから岩下方平の雅号と断定できるものは「暁山」・「竹舎」・「南谷」である。その他にもあるいは岩下方平の雅号ではないかと思われるものも数点存在するが、今後の調査・研究を待ちたい。

【附記】

末尾になりましたが、本資料群を長年大切に保管してこられた岩下家の方々、就中このたび資料を黎明館に寄贈くださいました岩下方夫氏に深謝申し上げます。

また、資料の受入れにあたって資料整理や目録作成で本館資料調査編集員の吉満郁恵氏と史料編纂委員の堂満幸子氏の協力をいただきました。お礼申し上げます。

(本館学芸専門員)

	資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号
			元号	年	月	日			
1	青山齋書簡	岩下方平宛			12	5	縦: 16.6cm 横: 158.0cm	1点	9676-001
2	赤坂孫六書簡	岩下方平宛			8	10	縦: 16.7cm 横: 52.2cm	1点	9676-002
3	秋葉美雄書簡	岩下方平宛	明治	14	8	19	縦: 15.9cm 横: 84.2cm	1点	9676-003
4	阿野公誠書簡	岩下方平宛	明治	2	1	24	縦: 17.5cm 横: 73.7cm	1点	9676-004
5	阿野公誠書簡	岩下方平宛	明治	1	7	22	縦: 15.8cm 横: 78.8cm	1点	9676-005
6	阿野公誠書簡	岩下方平宛			12	18	縦: 17.5cm 横: 55.8cm	1点	9676-006
7	有馬藤太書簡	岩下方平宛			2	9	縦: 18.0cm 横: 80.0cm	1点	9676-007
8	池辺書簡	岩下方平宛			8	10	縦: 17.6cm 横: 39.0cm	1点	9676-008
9	池辺書簡	岩下方平宛			9	17	縦: 16.2cm 横: 63.2cm	1点	9676-009
10	一賀磐之助書簡	岩下方平宛			9	28	縦: 16.7cm 横: 131.3cm	1点	9676-010
11	市来左衛門書簡	岩下方平宛	明治	1	1	15	縦: 18.2cm 横: 271.0cm	1点	9676-011
12	一品宮書簡	岩下方平宛			5	20	縦: 19.3cm 横: 50.2cm	1点	9676-012
13	乾左右太郎書簡	岩下方平宛			3	13	縦: 16.6cm 横: 56.5cm	1点	9676-013
14	岩下清之丞(方美)書簡	岩下方平宛	明治	1	3	18	縦: 17.9cm 横: 95.3cm	1点	9676-014
15	岩下清之丞(方美)書簡	岩下方平宛	明治	1	4	17	縦: 18.1cm 横: 187.3cm	1点	9676-015
16	岩下方美書簡	岩下方平宛	明治	4	6	17	縦: 16.8cm 横: 102.0cm	1点	9676-016
17	植邨半九郎書簡	岩下方平宛			6	10	縦: 18.0cm 横: 41.6cm	1点	9676-017
18	宇田測(栗園)書簡	岩下方平宛	明治	2	12	9	縦: 15.8cm 横: 48.0cm	1点	9676-018
19	宇田測(栗園)書簡	岩下方平宛			12	21	縦: 18.3cm 横: 72.2cm	1点	9676-019
20	宇田測(栗園)書簡	岩下方平宛			12	22	縦: 16.0cm 横: 43.3cm	1点	9676-020
21	内田仲之助書簡	岩下方平宛	明治	1	3	15	縦: 16.3cm 横: 98.0cm	1点	9676-021
22	内田仲之助書簡	岩下方平宛			3	7	縦: 15.3cm 横: 106.0cm	1点	9676-022
23	爪生将監書簡	岩下方平宛			3	21	縦: 16.0cm 横: 46.5cm	1点	9676-023
24	遠藤謹助書簡	岩下方平宛				30	縦: 16.7cm 横: 70.0cm	1点	9676-024
25	遠藤謹助書簡	岩下方平宛			3	7	縦: 16.5cm 横: 81.7cm	1点	9676-025
26	遠藤千胤書簡	岩下方平宛			10	21	縦: 16.3cm 横: 51.1cm	1点	9676-026
27	大久保一翁(忠寛)書簡	岩下方平宛				25	縦: 21.2cm 横: 26.8cm	1点	9676-027
28	大藏省出納司書簡	岩下方平宛			9	20	縦: 16.0cm 横: 74.3cm	1点	9676-028
29	大阪鹿尾島県出張会社通知状	岩下方平宛	明治	5	5	22	縦: 17.0cm 横: 47.8cm	1点	9676-029
30	鴻雪爪書簡	岩下方平宛			10	7	縦: 18.0cm 横: 49.3cm	1点	9676-030
31	押小路実潔書簡	岩下方平宛			10	4	縦: 15.7cm 横: 38.8cm	1点	9676-031
32	押小路実潔書簡	岩下方平宛	明治	4	11	9	縦: 16.7cm 横: 103.0cm	1点	9676-032
33	高無盛臣書簡	岩下方平宛	明治	4	6	6	縦: 15.8cm 横: 59.8cm	1点	9676-033
34	鬼城書簡	岩下方平宛					縦: 18.0cm 横: 55.8cm	1点	9676-034
35	小野書簡	岩下方平宛			1	29	縦: 16.3cm 横: 67.7cm	1点	9676-035
36	小原隼太書簡	岩下方平宛			10	20	縦: 16.3cm 横: 239.3cm	1点	9676-036
37	海江田信義書簡	岩下方平宛				18	縦: 20.5cm 横: 135.8cm	1点	9676-037
38	海江田彦之丞書簡	岩下方平宛	明治	1	7		縦: 16.5cm 横: 66.9cm	1点	9676-038
39	海江田彦之丞書簡	岩下方平宛	明治	1	9	27	縦: 15.7cm 横: 148.8cm	1点	9676-039
40	外国事務局問合書	岩下方平宛	明治	1	2	22	縦: 15.5cm 横: 103.5cm	1点	9676-040
41	臥雲(永平寺住持)書簡	岩下方平宛			3	19	縦: 17.0cm 横: 75.0cm	1点	9676-041
42	臥雲(永平寺住持)書簡	岩下方平宛			1	20	縦: 19.3cm 横: 72.2cm	1点	9676-042
43	鹿島則文書簡	岩下方平宛			7	3	縦: 16.5cm 横: 28.8cm	1点	9676-043
44	勝臣書簡	岩下方平宛			6		縦: 16.8cm 横: 81.8cm	1点	9676-044
45	桂久武書簡	岩下方平宛	明治	5	9	17	縦: 18.3cm 横: 69.5cm	1点	9676-045
46	神憑天徳書簡	岩下方平宛			3	23	縦: 24.4cm 横: 39.4cm	1点	9676-046
47	烏丸光徳書簡	岩下方平宛			7	11	縦: 18.2cm 横: 44.5cm	1点	9676-047
48	烏丸光徳書簡	岩下方平宛			7	9	縦: 18.5cm 横: 50.5cm	1点	9676-048
49	川北権大夫書簡	岩下方平宛			2	3	縦: 15.7cm 横: 41.7cm	1点	9676-049
50	河村与十郎書簡	岩下方平宛			7	26	縦: 16.5cm 横: 52.5cm	1点	9676-050

	資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号
			元号	年	月	日			
51	岸良兼養書簡	岩下方平宛			12	3	縦: 16.7cm 横: 47.7cm	1点	9676 - 051
52	岸良兼養書簡	岩下方平宛					縦: 16.8cm 横: 53.5cm	1点	9676 - 052
53	九鬼書簡	岩下方平宛					縦: 21.8cm 横: 28.8cm	1点	9676 - 053
54	九鬼書簡	岩下方平宛			5	28	縦: 16.7cm 横: 42.2cm	1点	9676 - 054
55	九鬼書簡	岩下方平宛			4	12	縦: 16.8cm 横: 94.2cm	1点	9676 - 055
56	栗原信充書簡	岩下方平宛			5	25	縦: 17.3cm 横: 90.4cm 縦: 16.0cm 横: 31.2cm 縦: 16.7cm 横: 29.2cm 縦: 15.9cm 横: 68.5cm	4点	9676 - 056
57	黒田近江書簡	岩下方平宛			11	1	縦: 9.7cm 横: 58.5cm	1点	9676 - 057
58	黒田清綱書簡	岩下方平宛	明治	4	4	16	縦: 16.7cm 横: 80.2cm	1点	9676 - 058
59	黒田清綱書簡	岩下方平宛			1	23	縦: 15.8cm 横: 30.2cm	1点	9676 - 059
60	桑原門二郎書簡	岩下方平宛			2	13	縦: 16.6cm 横: 39.3cm	1点	9676 - 060
61	刑法官判事伺書	岩下方平宛	明治	2			縦: 17.3cm 横: 73.9cm	1点	9676 - 061
62	刑法官判事試輔外村省吾書簡	岩下方平宛			3	31	縦: 15.8cm 横: 40.2cm	1点	9676 - 062
63	小河一敏書簡	岩下方平宛			3	10	縦: 15.3cm 横: 132.2cm	1点	9676 - 063
64	古香書簡	岩下方平宛			7	22	縦: 16.0cm 横: 124.8cm	1点	9676 - 064
65	国分上総書簡	岩下方平宛			7	25	縦: 15.7cm 横: 44.7cm	1点	9676 - 065
66	国分芳津舎書簡	岩下方平宛			2	25	縦: 17.0cm 横: 115.6cm	1点	9676 - 066
67	後醍院彦次郎(真柱)書簡	岩下方平宛			1	6	縦: 16.5cm 横: 478.5cm	1点	9676 - 067
68	後醍院真柱書簡	岩下方平宛			5	25	縦: 16.7cm 横: 42.5cm	1点	9676 - 068
69	後醍院真柱書簡	岩下方平宛	明治	2	10	29	縦: 15.7cm 横: 24.5cm	1点	9676 - 069
70	五代才助書簡	岩下方平宛			1	25	縦: 16.5cm 横: 85.2cm	1点	9676 - 070
71	後藤祥雲堂書簡	岩下方平宛			12	8	縦: 15.8cm 横: 52.3cm	1点	9676 - 071
72	木場清生(伝内)書簡	岩下方平宛			12	22	縦: 17.3cm 横: 104.2cm	1点	9676 - 072
73	木場伝内書簡	岩下方平宛	明治	1	2	11	縦: 14.5cm 横: 89.2cm	1点	9676 - 073
74	木場直右衛門書簡	岩下方平宛	明治	1	3	7	縦: 16.0cm 横: 178.5cm	1点	9676 - 074
75	小松帯刀書簡	岩下方平宛	明治	1	2	10	縦: 18.3cm 横: 89.7cm	1点	9676 - 075
76	近藤小舟書簡	岩下方平宛			3	30	縦: 17.7cm 横: 85.0cm	1点	9676 - 076
77	西郷従道書簡	岩下方平宛	明治	14	6	12	縦: 17.9cm 横: 35.9cm	1点	9676 - 077
78	西郷従道書簡	岩下方平宛			6	18	縦: 17.8cm 横: 34.3cm	1点	9676 - 078
79	西郷従道書簡	岩下方平宛				26	縦: 16.3cm 横: 32.3cm	1点	9676 - 079
80	税所長蔵(篤)書簡	岩下方平宛			6	12	縦: 17.8cm 横: 111.0cm	1点	9676 - 080
81	税所長蔵(篤)書簡	岩下方平宛	明治	1	2	11	縦: 18.2cm 横: 102.5cm	1点	9676 - 081
82	税所長蔵(篤)書簡	岩下方平宛				13	縦: 16.0cm 横: 105.5cm	1点	9676 - 082
83	左京亮書簡	岩下方平宛			3	2	縦: 21.2cm 横: 38.7cm	1点	9676 - 083
84	桜井能監書簡	岩下方平宛			2	12	縦: 17.8cm 横: 21.2cm	1点	9676 - 084
85	桜井能監書簡	岩下方平宛			6	24	縦: 16.5cm 横: 66.0cm	1点	9676 - 085
86	桜井能監書簡	岩下方平宛			6	28	縦: 16.8cm 横: 38.8cm	1点	9676 - 086
87	佐野常民書簡	岩下方平宛			4	7	縦: 18.0cm 横: 40.8cm	1点	9676 - 087
88	重賢書簡	岩下方平宛			7	1	縦: 15.8cm 横: 84.0cm	1点	9676 - 088
89	重野厚之丞(安繹)書簡	岩下方平宛			1	6	縦: 16.3cm 横: 640.0cm	1点	9676 - 089
90	重野安繹書簡	岩下方平宛	明治	15	2	13	縦: 16.5cm 横: 71.0cm	1点	9676 - 090
91	重野安繹書簡	岩下方平宛			6	1	縦: 17.0cm 横: 96.0cm	1点	9676 - 091
92	重野安繹書簡	岩下方平宛			8	28	縦: 16.6cm 横: 51.4cm	1点	9676 - 092
93	重野安繹書簡	岩下方平宛			9	2	縦: 16.8cm 横: 44.5cm	1点	9676 - 093
94	重野安繹書簡	岩下方平宛			10	5	縦: 16.6cm 横: 26.6cm	1点	9676 - 094
95	重野安繹書簡	岩下方平宛			11	6	縦: 16.0cm 横: 50.2cm	1点	9676 - 095
96	重野安繹書簡	岩下方平宛			10	3	縦: 16.7cm 横: 48.0cm	1点	9676 - 096
97	重野安繹書簡	岩下方平宛			12	4	縦: 16.7cm 横: 191.3cm	1点	9676 - 097
98	重野安繹書簡	岩下方平宛			12	21	縦: 16.1cm 横: 78.6cm	1点	9676 - 098

	資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号
			元号	年	月	日			
99	重野安禪書簡	岩下方平宛				28	縦: 15.4cm 横: 63.2cm	1点	9676-099
100	重野安禪書簡	岩下方平宛			8	28	縦: 25.2cm 横: 35.4cm	1点	9676-100
101	穴野半書簡	岩下方平宛			3	27	縦: 19.1cm 横: 52.0cm	1点	9676-101
102	渋谷国安書簡	岩下方平宛	明治	13	10	11	縦: 14.6cm 横: 120.0cm	1点	9676-102
103	渋谷国安断簡	岩下方平宛			10	18	縦: 15.4cm 横: 34.0cm 縦: 15.4cm 横: 31.0cm	2点	9676-103
104	島津伊勢書簡	岩下方平宛	明治	1	1	17	縦: 17.8cm 横: 92.5cm	1点	9676-104
105	島津主殿書簡	岩下方平宛	明治	1	5	18	縦: 14.6cm 横: 55.2cm	1点	9676-105
106	島津主殿書簡	岩下方平宛			11	9	縦: 21.1cm 横: 33.7cm	1点	9676-106
107	島津主殿書簡	岩下方平宛	明治	1		22	縦: 15.6cm 横: 99.0cm	1点	9676-107
108	志水忠平書簡	岩下方平宛			4	3	縦: 16.0cm 横: 116.5cm	1点	9676-108
109	志水忠平書簡	岩下方平宛			4	2	縦: 16.0cm 横: 95.0cm	1点	9676-109
110	樹堂書簡	岩下方平宛			3	10	縦: 15.9cm 横: 65.6cm	1点	9676-110
111	正三位高松保實書簡	岩下方平宛	明治	4	7	29	縦: 16.2cm 横: 177.0cm	1点	9676-111
112	白川資訓書簡	岩下方平宛			6	24	縦: 27.5cm 横: 39.6cm	1点	9676-112
113	白川資訓書簡	岩下方平宛			9	7	縦: 16.8cm 横: 53.5cm	1点	9676-113
114	白浜久太夫書簡	岩下方平宛			6	9	縦: 17.6cm 横: 37.0cm	1点	9676-114
115	新庄源武書簡	岩下方平宛					縦: 16.0cm 横: 59.0cm	3点	9676-115
116	進藤琴石書簡	岩下方平宛			10	3	縦: 15.6cm 横: 55.7cm	1点	9676-116
117	進藤琴石書簡	岩下方平宛			10	3	縦: 15.6cm 横: 48.6cm	1点	9676-117
118	進藤琴石書簡	岩下方平宛			10	4	縦: 16.4cm 横: 42.6cm	1点	9676-118
119	世古延世(格太郎)書簡	岩下方平宛			1	23	縦: 27.5cm 横: 39.0cm	1点	9676-119
120	世古延世(格太郎)書簡	岩下方平宛	明治	2	11	20	縦: 16.0cm 横: 27.8cm	1点	9676-120
121	世古延世(格太郎)書簡	岩下方平宛	明治	3	9	20	縦: 18.0cm 横: 73.0cm	1点	9676-121
122	世古延世(格太郎)書簡	岩下方平宛			5	20	縦: 16.4cm 横: 51.6cm	1点	9676-122
123	世古延世(格太郎)書簡	岩下方平宛			12	20	縦: 18.0cm 横: 68.0cm	1点	9676-123
124	前光院書簡	岩下方平宛					縦: 16.7cm 横: 138.0cm	1点	9676-124
125	宗重正書簡	岩下方平宛	明治	16	12	1	縦: 17.4cm 横: 38.7cm	1点	9676-125
126	宗重正書簡	岩下方平宛	明治	17	2	10	縦: 16.8cm 横: 57.0cm	1点	9676-126
127	宗重正書簡	岩下方平宛			3	20	縦: 16.7cm 横: 54.6cm	1点	9676-127
128	宗重正書簡	岩下方平宛			7	10	縦: 16.7cm 横: 36.2cm	1点	9676-128
129	宗村加兵衛書簡	岩下方平宛			7	5	縦: 17.6cm 横: 102.0cm	1点	9676-129
130	宗村加兵衛書簡	岩下方平宛			12	22	縦: 18.4cm 横: 141.3cm	1点	9676-130
131	雙明書簡	岩下方平宛			9	30	縦: 15.0cm 横: 47.8cm	1点	9676-131
132	雙明書簡	岩下方平宛					縦: 15.3cm 横: 55.2cm	1点	9676-132
133	雙明書簡	岩下方平宛			1	13	縦: 15.6cm 横: 78.8cm	1点	9676-133
134	曾我(祐準力)書簡	岩下方平宛	明治	1	6	21	縦: 18.8cm 横: 67.0cm	1点	9676-134
135	大興徳院書簡	岩下方平宛			8	25	縦: 16.5cm 横: 70.3cm	1点	9676-135
136	高崎五六(正風)書簡	岩下方平宛			10	10	縦: 17.6cm 横: 109.8cm	1点	9676-136
137	高島六三書簡	岩下方平宛			8		縦: 15.5cm 横: 71.3cm	1点	9676-137
138	高田利平書簡	岩下方平宛			7	2	縦: 16.0cm 横: 119.7cm	1点	9676-138
139	鷹司輔熙書簡	岩下方平・烏丸光徳宛			6	12	縦: 17.5cm 横: 93.0cm	1点	9676-139
140	鷹司輔熙書簡	岩下方平宛			6	23	縦: 17.5cm 横: 70.0cm	1点	9676-140
141	高橋保実書簡	岩下方平宛			7	29	縦: 32.1cm 横: 43.3cm 縦: 32.4cm 横: 44.6cm	2点	9676-141
142	高谷龍洲書簡	岩下方平宛			10	20	縦: 15.7cm 横: 107.0cm	1点	9676-142
143	瀧省三郎書簡	岩下方平宛			8	20	縦: 15.8cm 横: 138.0cm	1点	9676-143
144	武田信晁(信允)書簡	岩下方平宛			6	7	縦: 24.4cm 横: 34.0cm	1点	9676-144
145	武田信允書簡	岩下方平宛			6	4	縦: 17.4cm 横: 43.6cm	1点	9676-145
146	武田信允書簡	岩下方平宛			11	20	縦: 17.5cm 横: 36.6cm	1点	9676-146
147	武田信允書簡	岩下方平宛					縦: 17.7cm 横: 23.4cm	1点	9676-147

	資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号
			元号	年	月	日			
148	田代宗次郎・大松十郎太書簡	岩下方平宛	明治	1	3	15	縦: 15.9cm 横: 75.2cm	1点	9676 - 148
149	多田莊藏書簡	岩下方平宛			3		縦: 18.2cm 横: 76.3cm	1点	9676 - 149
150	田中峯尾書簡	岩下方平宛			12	10	縦: 15.1cm 横: 65.3cm	1点	9676 - 150
151	田宮篤輝(如雲)書簡	岩下方平宛			7	3	縦: 15.5cm 横: 128.0cm	1点	9676 - 151
152	田宮篤輝書簡	岩下方平宛	明治	2	10	16	縦: 17.0cm 横: 171.5cm	1点	9676 - 152
153	田宮篤輝書簡	岩下方平宛	明治	4	7	10	縦: 15.5cm 横: 159.0cm	1点	9676 - 153
154	田宮篤輝書簡	岩下方平宛			5	17	縦: 16.0cm 横: 84.0cm	1点	9676 - 154
155	千種前少将書簡	岩下方平宛	明治	1	6	8	縦: 17.5cm 横: 86.6cm	1点	9676 - 155
156	辻将曹(維嶽)書簡	岩下方平宛			6	25	縦: 17.4cm 横: 135.0cm	1点	9676 - 156
157	辻書簡	岩下方平宛			10	18	縦: 18.1cm 横: 98.7cm	1点	9676 - 157
158	寺島陶蔵(宗則)書簡	岩下方平宛			4		縦: 16.2cm 横: 34.7cm	1点	9676 - 158
159	寺島陶蔵(宗則)書簡	岩下方平宛			4		縦: 15.8cm 横: 46.7cm	1点	9676 - 159
160	土肥匡書簡	岩下方平宛	明治	1	12	22	縦: 15.9cm 横: 53.0cm	1点	9676 - 160
161	東条慶二書簡	岩下方平宛	明治	1	6	11	縦: 17.9cm 横: 173.0cm	1点	9676 - 161
162	東条慶二書簡	岩下方平宛	明治	1	3	17	縦: 16.6cm 横: 97.0cm	1点	9676 - 162
163	東条慶二・中路権右衛門書簡	岩下方平宛	明治	1	4	20	縦: 16.2cm 横: 29.8cm 縦: 16.4cm 横: 156.2cm	2点	9676 - 163
164	東条慶二・中路権右衛門書簡	岩下方平宛	明治	1	閏4	22	縦: 16.3cm 横: 104.0cm	1点	9676 - 164
165	東条慶二・中路権右衛門書簡	岩下方平宛	明治	1	5	15	縦: 16.2cm 横: 162.8cm	1点	9676 - 165
166	得能良介書簡	岩下方平宛			1	21	縦: 17.2cm 横: 50.2cm 縦: 16.4cm 横: 36.4cm	2点	9676 - 166
167	得能良介書簡	岩下方平宛			10	6	縦: 17.4cm 横: 56.3cm	1点	9676 - 167
168	得能良介書簡	岩下方平宛			7	6	縦: 17.4cm 横: 55.7cm	1点	9676 - 168
169	得能良介書簡	岩下方平宛			7	4	縦: 16.2cm 横: 42.6cm	1点	9676 - 169
170	得能良介書簡	岩下方平宛			10	5	縦: 15.6cm 横: 62.6cm	1点	9676 - 170
171	得能良介書簡	岩下方平宛			9	17	縦: 19.7cm 横: 83.0cm	1点	9676 - 171
172	外村省吾書簡	岩下方平宛			9	2	縦: 15.3cm 横: 63.2cm	1点	9676 - 172
173	長岡従四位書簡	岩下方平宛			8	19	縦: 20.0cm 横: 192.5cm	1点	9676 - 173
174	長岡護美書簡	岩下方平宛			12	5	縦: 17.5cm 横: 137.3cm	1点	9676 - 174
175	中金将平書簡	岩下方平宛			7	28	縦: 15.8cm 横: 55.1cm	1点	9676 - 175
176	中川従四位書簡	岩下方平宛			8	10	縦: 15.6cm 横: 68.3cm	1点	9676 - 176
177	中川久昭書簡	岩下方平宛	明治	2	8	16	縦: 16.3cm 横: 93.0cm	1点	9676 - 177
178	中路権右衛門書簡	岩下方平宛	明治	1	6	22	縦: 16.3cm 横: 196.0cm	1点	9676 - 178
179	中路権右衛門書簡	岩下方平宛			11		縦: 17.8cm 横: 85.7cm	1点	9676 - 179
180	中村脩之進書簡	岩下方平宛			3	29	縦: 15.7cm 横: 46.0cm	1点	9676 - 180
181	中村脩之進書簡	岩下方平宛			3	22	縦: 15.0cm 横: 48.8cm	1点	9676 - 181
182	中御門経之書簡	岩下方平宛	明治	2	12	28	縦: 16.3cm 横: 53.6cm	1点	9676 - 182
183	中御門経之書簡	岩下方平宛			12	14	縦: 15.8cm 横: 70.8cm	1点	9676 - 183
184	中村源吾書簡	岩下方平宛	明治	1	4	4	縦: 15.3cm 横: 233.5cm	1点	9676 - 184
185	中村幹之助書簡	岩下方平宛	明治	2	3	17	縦: 17.6cm 横: 82.4cm	1点	9676 - 185
186	並木軍八郎書簡	岩下方平宛			2	2	縦: 20.0cm 横: 174.5cm	1点	9676 - 186
187	成瀬正肥書簡	岩下方平宛			5	23	縦: 16.4cm 横: 95.4cm	1点	9676 - 187
188	成瀬正肥書簡	岩下方平宛	明治	1	3	4	縦: 16.8cm 横: 130.4cm	1点	9676 - 188
189	南部弥八郎書簡	岩下方平宛	明治	1	5	22	縦: 16.4cm 横: 67.0cm	1点	9676 - 189
190	南部弥八郎書簡	岩下方平宛			5	20	縦: 16.6cm 横: 66.8cm	1点	9676 - 190
191	新納嘉藤二書簡	岩下方平宛	明治	1	3	12	縦: 18.1cm 横: 143.0cm	1点	9676 - 191
192	新納嘉藤二書簡	岩下方平宛	明治	1	4	27	縦: 18.0cm 横: 295.4cm	1点	9676 - 192
193	新納嘉藤二書簡	岩下方平宛	明治	1	8	5	縦: 16.8cm 横: 52.5cm	1点	9676 - 193
194	新納立夫書簡	岩下方平宛	明治	5	3	17	縦: 16.4cm 横: 65.6cm	1点	9676 - 194
195	新納立夫書簡	岩下方平宛	明治	3	2	8	縦: 16.5cm 横: 31.0cm	1点	9676 - 195
196	新納立夫書簡	岩下方平宛	明治	3	3	12	縦: 16.7cm 横: 43.0cm	1点	9676 - 196

資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号	
		元号	年	月	日				
197	新納立夫書簡	岩下方平宛		1	15	縦: 16.8cm 横: 40.4cm	1点	9676-197	
198	新納立夫書簡	岩下方平宛		2	8	縦: 16.5cm 横: 19.3cm	1点	9676-198	
199	新納立夫書簡	岩下方平宛		2	12	縦: 17.3cm 横: 41.8cm	1点	9676-199	
200	新納立夫書簡	岩下方平宛		2	26	縦: 15.6cm 横: 44.6cm	1点	9676-200	
201	新納立夫書簡	岩下方平宛		4	20	縦: 16.7cm 横: 36.9cm	1点	9676-201	
202	新納立夫書簡	岩下方平宛		11	6	縦: 16.2cm 横: 173.4cm	1点	9676-202	
203	新納立夫書簡	岩下方平宛	明治	3	3	16	縦: 18.2cm 横: 146.5cm	1点	9676-203
204	新納久仰(葦洲)書簡	岩下方平宛	明治	3	10	25	縦: 17.9cm 横: 138.7cm	1点	9676-204
205	新納久仰書簡	岩下方平宛		1	18	縦: 15.8cm 横: 95.5cm	1点	9676-205	
206	新納久仰書簡	岩下方平宛		10	26	縦: 17.9cm 横: 207.7cm	1点	9676-206	
207	新納久仰書簡	岩下方平宛		11	3	縦: 17.8cm 横: 125.7cm	1点	9676-207	
208	新納久仰書簡	岩下方平宛		12	2	縦: 17.9cm 横: 82.5cm	1点	9676-208	
209	西本清介書簡	岩下方平宛		5	9	縦: 17.8cm 横: 56.9cm	1点	9676-209	
210	西四辻公業書簡	岩下方平宛		11	18	縦: 16.7cm 横: 78.8cm	1点	9676-210	
211	西四辻公業書簡	岩下方平宛		7	9	縦: 18.0cm 横: 104.0cm	1点	9676-211	
212	西四辻公業書簡	岩下方平宛		10	29	縦: 17.3cm 横: 102.5cm	1点	9676-212	
213	西四辻公業書簡	岩下方平宛		8	17	縦: 16.8cm 横: 77.8cm	1点	9676-213	
214	西四辻公業書簡	岩下方平宛		8	23	縦: 17.7cm 横: 71.3cm	1点	9676-214	
215	西四辻公業書簡	岩下方平宛		9	8	縦: 17.8cm 横: 64.4cm	1点	9676-215	
216	野村宗七書簡	岩下方平宛		2	14	縦: 16.3cm 横: 57.6cm	1点	9676-216	
217	長谷川仁右工門書簡	岩下方平宛	明治	1	閏4	26	縦: 15.8cm 横: 24.4cm	1点	9676-217
218	八田喜左衛門(智紀)書簡	岩下方平宛		7	2	縦: 15.5cm 横: 103.5cm	1点	9676-218	
219	八田喜左衛門(智紀)書簡	岩下方平宛		7	4	縦: 15.7cm 横: 46.0cm 縦: 15.6cm 横: 20.5cm	2点	9676-219	
220	八田喜左衛門(智紀)書簡	岩下方平宛	明治	3	12	21	縦: 15.7cm 横: 31.7cm	1点	9676-220
221	八田喜左衛門(智紀)書簡	岩下方平宛		6	26	縦: 15.8cm 横: 89.0cm	1点	9676-221	
222	八田喜左衛門(智紀)書簡	岩下方平宛	明治	1	10	2	縦: 17.7cm 横: 53.5cm	1点	9676-222
223	八田喜左衛門(智紀)書簡	岩下方平宛		11	11	縦: 15.4cm 横: 34.7cm	1点	9676-223	
224	馬場蒼心書簡	岩下方平宛		7	12	縦: 15.2cm 横: 60.4cm	1点	9676-224	
225	林六九藏書簡	岩下方平宛		3	10	縦: 16.6cm 横: 99.8cm	1点	9676-225	
226	林六九藏書簡	岩下方平宛		3	30	縦: 15.9cm 横: 50.0cm	1点	9676-226	
227	半右衛門書簡	岩下方平宛		12	6	縦: 16.5cm 横: 69.8cm	1点	9676-227	
228	平岡将曹書簡	岩下方平宛		3	15	縦: 15.1cm 横: 48.7cm	1点	9676-228	
229	平田大角(鉄胤)書簡	岩下方平宛		11	1	縦: 18.9cm 横: 68.2cm	1点	9676-229	
230	平田大角書簡	岩下方平宛	明治	1	10	9	縦: 17.2cm 横: 57.4cm	1点	9676-230
231	平田大角書簡	岩下方平宛		7	14	縦: 15.6cm 横: 36.6cm	1点	9676-231	
232	平田大角書簡	岩下方平宛		8	24	縦: 16.2cm 横: 42.1cm	1点	9676-232	
233	平田大角書簡	岩下方平宛		12	9	縦: 15.5cm 横: 38.8cm 縦: 15.8cm 横: 50.9cm	2点	9676-233	
234	平田大角書簡	岩下方平宛	明治	1	9	22	縦: 18.2cm 横: 51.3cm	1点	9676-234
235	平田鉄胤書簡	岩下方平宛		7	2	縦: 15.8cm 横: 37.7cm	1点	9676-235	
236	平田鉄胤書簡	岩下方平宛		8	18	縦: 16.0cm 横: 60.5cm	1点	9676-236	
237	平山省斎(敬忠)書簡	岩下方平宛				縦: 16.2cm 横: 49.6cm	1点	9676-237	
238	広瀬元恭書簡	岩下方平宛		12	24	縦: 15.5cm 横: 67.2cm	1点	9676-238	
239	福岡藤次(孝弟)書簡	岩下方平宛		2	16	縦: 19.3cm 横: 87.8cm	1点	9676-239	
240	福羽(美静)書簡	岩下方平宛		10	11	縦: 18.1cm 横: 83.4cm	1点	9676-240	
241	福羽文三郎(美静)書簡	岩下方平宛		8	14	縦: 15.8cm 横: 110.7cm	1点	9676-241	
242	福羽文三郎(美静)書簡	岩下方平宛		9	17	縦: 17.6cm 横: 42.3cm	1点	9676-242	
243	藤井希璞書簡	岩下方平宛		6	30	縦: 18.8cm 横: 81.0cm	1点	9676-243	
244	藤川三溪(将監)書簡	岩下方平宛			14	縦: 16.7cm 横: 23.6cm	1点	9676-244	
245	藤川三溪(将監)書簡	岩下方平宛			27	縦: 16.2cm 横: 35.3cm	1点	9676-245	

	資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号
			元号	年	月	日			
246	藤川能登(将監)書簡	岩下方平宛			7	縦: 16.3cm 横: 36.5cm	1点	9676-246	
247	藤左衛門督書簡	岩下方平宛		9	8	縦: 50.0cm 横: 33.4cm	1点	9676-247	
248	某氏書簡	岩下方平宛		8	26	縦: 17.1cm 横: 83.3cm	1点	9676-248	
249	某氏書簡	岩下方平宛				縦: 17.9cm 横: 51.8cm	1点	9676-249	
250	某書簡	岩下方平宛		9	5	縦: 17.9cm 横: 102.1cm	1点	9676-250	
251	穆堂書簡	岩下方平宛				縦: 16.7cm 横: 50.4cm	1点	9676-251	
252	本郷佐野介書簡	岩下・寺島・伊藤宛	明治	1	1	縦: 17.0cm 横: 75.7cm	1点	9676-252	
253	本荘宗武書簡	岩下方平宛		6	24	縦: 15.0cm 横: 36.2cm	1点	9676-253	
254	本田親雄書簡	岩下方平宛		7	24	縦: 26.4cm 横: 18.5cm	1点	9676-254	
255	本田弥右衛門書簡	岩下方平宛		3	7	縦: 17.6cm 横: 77.0cm	1点	9676-255	
256	真木主馬書簡	岩下方平宛	明治	2	8 3	縦: 16.7cm 横: 68.7cm	1点	9676-256	
257	真木直人書簡	岩下方平宛		11	12	縦: 15.8cm 横: 44.5cm	1点	9676-257	
258	間島冬道書簡	岩下方平宛	明治	1	11 30	縦: 16.1cm 横: 197.9cm	1点	9676-258	
259	間島萬次郎(冬道)書簡	岩下方平宛		2	25	縦: 15.8cm 横: 33.4cm	1点	9676-259	
260	間島萬次郎書簡	岩下方平宛		2	10	縦: 17.9cm 横: 27.9cm	1点	9676-260	
261	待木一二書簡	岩下方平宛		7	11	縦: 24.6cm 横: 34.5cm	1点	9676-261	
262	町田久成(竹陰)書簡	岩下方平宛		9	29	縦: 16.0cm 横: 33.6cm	1点	9676-262	
263	町田久成(竹陰)書簡	岩下方平宛	明治	3	10 15	縦: 17.2cm 横: 41.6cm	1点	9676-263	
264	町田久成書簡	岩下方平宛		11	23	縦: 17.1cm 横: 41.6cm	1点	9676-264	
265	町田久成書簡	岩下方平宛		11	15	縦: 16.5cm 横: 70.0cm	1点	9676-265	
266	町田久成書簡	岩下方平宛		1	30	縦: 17.2cm 横: 21.1cm	1点	9676-266	
267	松浦詮書簡	岩下方平宛	明治	17	3 17	縦: 17.9cm 横: 37.5cm	1点	9676-267	
268	松岡時敏書簡	岩下方平宛		7	9	縦: 16.0cm 横: 147.8cm	1点	9676-268	
269	松田正人(道之)書簡	岩下方平宛		10	1	縦: 15.8cm 横: 89.5cm	1点	9676-269	
270	松原操造書簡	岩下方平宛				縦: 17.6cm 横: 40.7cm	1点	9676-270	
271	松原操書簡	岩下方平宛			21	縦: 17.6cm 横: 70.6cm	1点	9676-271	
272	松本為造書簡	岩下方平宛		9	17	縦: 16.7cm 横: 89.0cm	1点	9676-272	
273	水本大博士(成美)書簡	岩下方平宛	明治	2	8 24	縦: 19.5cm 横: 146.5cm	1点	9676-273	
274	三岡八郎(由利公正)書簡	岩下方平宛		4	7	縦: 18.0cm 横: 48.0cm	1点	9676-274	
275	三岡八郎(由利公正)書簡	岩下方平宛		2	18	縦: 15.7cm 横: 41.7cm	1点	9676-275	
276	南貞助書簡	岩下方平宛		8	2	縦: 17.4cm 横: 193.5cm	1点	9676-276	
277	三原彦之丞書簡	岩下方平宛	明治	1	1 3	縦: 16.4cm 横: 184.7cm	1点	9676-277	
278	三原彦之丞書簡	岩下方平宛	明治	1	3 17	縦: 17.4cm 横: 334.4cm	1点	9676-278	
279	八十郎書簡	岩下方平宛		10	28	縦: 15.4cm 横: 107.2cm	1点	9676-279	
280	安井多嘉助書簡	岩下方平宛		12	1	縦: 15.0cm 横: 37.6cm	1点	9676-280	
281	安井多嘉助書簡	岩下方平宛		6	14	縦: 15.8cm 横: 31.0cm	1点	9676-281	
282	安井多嘉助書簡	岩下方平宛		8	8	縦: 15.0cm 横: 80.7cm	1点	9676-282	
283	安井多嘉助書簡	岩下方平宛		7	3	縦: 15.1cm 横: 36.7cm	1点	9676-283	
284	山田(顕義力)書簡	岩下方平宛		11	8	縦: 20.6cm 横: 41.8cm	1点	9676-284	
285	山田顕義書簡	岩下方平宛		11	5	縦: 19.7cm 横: 56.0cm	1点	9676-285	
286	山田勘解由書簡	岩下方平宛		4	15	縦: 16.3cm 横: 61.1cm	1点	9676-286	
287	山田五次郎書簡	岩下方平宛		7	9	縦: 17.4cm 横: 63.8cm	1点	9676-287	
288	山田五次郎書簡	岩下方平宛	明治	1	8 25	縦: 16.0cm 横: 41.2cm	1点	9676-288	
289	山田五次郎書簡	岩下方平宛	明治	2	7 13	縦: 16.4cm 横: 50.1cm	1点	9676-289	
290	由利公正書簡	岩下方平宛		2	8	縦: 14.7cm 横: 73.8cm	1点	9676-290	
291	由利公正書簡	岩下方平宛		5	20	縦: 15.0cm 横: 34.7cm	1点	9676-291	
292	与倉直右衛門書簡	岩下方平宛	明治	3	4 24	縦: 16.6cm 横: 113.2cm	1点	9676-292	
293	與倉直右衛門書簡	岩下方平宛		1	3	縦: 18.0cm 横: 87.8cm	1点	9676-293	
294	吉井幸輔(友実)書簡	岩下方平宛	明治	1	4 15	縦: 17.6cm 横: 83.7cm	1点	9676-294	
295	吉井幸輔書簡	岩下方平宛	明治	3	2 23	縦: 18.2cm 横: 71.8cm	1点	9676-295	

資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号	
		元号	年	月	日				
296	吉井幸輔書簡	岩下方平宛	明治	1	6	25	縦: 17.5cm 横: 73.4cm	1点	9676-296
297	吉井幸輔書簡	岩下方平宛	明治	1	6	20	縦: 17.8cm 横: 91.3cm	1点	9676-297
298	吉井幸輔書簡	岩下方平宛			4	3	縦: 18.9cm 横: 78.5cm	1点	9676-298
299	吉井幸輔書簡	岩下方平宛			9	30	縦: 16.3cm 横: 40.0cm	1点	9676-299
300	吉井幸輔書簡	岩下方平宛			2	20	縦: 17.3cm 横: 25.9cm	1点	9676-300
301	吉田助右衛門書簡	岩下方平宛			10	16	縦: 17.9cm 横: 109.3cm	1点	9676-301
302	吉田晩翠(清成カ)書簡	岩下方平宛	明治	4	4	1	縦: 16.0cm 横: 189.0cm	1点	9676-302
303	冷泉雅二郎書簡	岩下方平宛			12	12	縦: 16.0cm 横: 107.8cm	1点	9676-303
304	老山書簡	岩下方平宛					縦: 17.2cm 横: 50.4cm	1点	9676-304
305	露香書簡	岩下方平宛			5	2	縦: 16.5cm 横: 73.4cm	1点	9676-305
306	渡辺鍼次郎書簡	岩下方平宛			7	3	縦: 21.2cm 横: 94.8cm	1点	9676-306
307	渡忠秋書簡	岩下方平宛			10	29	縦: 16.3cm 横: 61.1cm	1点	9676-307
308	渡忠秋書簡	岩下方平宛			4	28	縦: 16.2cm 横: 36.7cm	1点	9676-308
309	渡忠秋書簡	岩下方平宛			6	16	縦: 16.8cm 横: 43.5cm 縦: 16.8cm 横: 14.7cm 縦: 16.2cm 横: 13.9cm	1点	9676-309
310	岩倉具視覚書		明治	1			縦: 17.4cm 横: 24.0cm	1点	9676-310
311	岩下書簡	伊集院宛	明治	1	7	22	縦: 16.1cm 横: 71.7cm	1点	9676-311
312	岩下清之丞(方美)書簡	田中辰浦宛	明治	1	2	29	縦: 18.0cm 横: 77.0cm	1点	9676-312
313	岩下先生赴任于撰府奉送文	渡辺約郎稿	明治	4	4		縦: 31.7cm 横: 90.5cm	1点	9676-313
314	大垣藩届書写		明治	1	9	29	縦: 17.5cm 横: 139.4cm	1点	9676-314
315	大伴書簡	小町公宛					縦: 17.4cm 横: 120.5cm	1点	9676-315
316	小笠原佐渡守内長谷川善兵三衛願書		明治	1	1	26	縦: 15.7cm 横: 87.1cm	1点	9676-316
317	外国和親之件につき御沙汰書写		明治	1	1	21	縦: 18.0cm 横: 52.2cm	1点	9676-317
318	臥雲(永平寺住持)書簡				2	27	縦: 17.3cm 横: 100.3cm	1点	9676-318
319	(烏丸カ)光徳書簡				3		縦: 18.2cm 横: 40.0cm	1点	9676-319
320	川上邦之助其他二名流罪宣告書		明治	1	3	5	縦: 19.7cm 横: 61.8cm	1点	9676-320
321	川上助八郎書簡	渋谷国安宛			9	23	縦: 18.0cm 横: 202.2cm	1点	9676-321
322	河嶋雄三郎嘆願書	前宝性院門主海雄隨身	明治	2	7		縦: 18.8cm 横: 176.2cm	1点	9676-322
323	北川大膳・岩田刈谷書簡	兵庫御役所宛	明治	1	3	12	縦: 17.7cm 横: 17.8cm	1点	9676-323
324	行政官沙汰書	酒井徳之助宛	明治	2	5		縦: 16.5cm 横: 27.9cm	1点	9676-324
325	桑名藩外替地覚		明治	1			縦: 17.5cm 横: 33.2cm	1点	9676-325
326	刑法事務局申渡書		明治	1	3		縦: 19.7cm 横: 60.8cm	1点	9676-326
327	元蔵・権平報告書	蔵次郎宛			7	10	縦: 15.1cm 横: 167.0cm	1点	9676-327
328	高知藩届書		明治	1	2	15	縦: 16.3cm 横: 82.8cm	1点	9676-328
329	小松家へ申上候ヶ条大意 (仏国白山ニ関スル事)						縦: 27.0cm 横: 21.0cm 縦: 13.5cm 横: 21.0cm	1点	9676-329
330	三条実美書簡	高津久光宛	明治	2	2		縦: 15.9cm 横: 142.8cm	1点	9676-330
331	参与(設定ノ際)へ達案						縦: 17.9cm 横: 25.6cm	1点	9676-331
332	島津久光達書		明治	2	2		縦: 16.0cm 横: 74.5cm	1点	9676-332
333	島津久光諭達		明治	2	2		縦: 15.9cm 横: 124.4cm	1点	9676-333
334	島津久光諭達		明治	2	2		縦: 15.9cm 横: 127.0cm	1点	9676-334
335	宸翰写		明治	2	2		縦: 15.9cm 横: 90.0cm	1点	9676-335
336	人名書上						縦: 15.5cm 横: 104.5cm	1点	9676-336
337	杉浦直三郎左衛門書簡		明治	1	6		縦: 16.0cm 横: 109.8cm	1点	9676-337
338	澄平書簡				4	8	縦: 16.7cm 横: 662.4cm	1点	9676-338
339	関川検校何書		明治	2	12		縦: 18.0cm 横: 33.3cm	1点	9676-339
340	世古延世書簡	海江田(信義カ)宛			8	28	縦: 15.8cm 横: 58.7cm	1点	9676-340
341	仙台藩井上九郎左衛門処分一件				2	18	縦: 15.3cm 横: 68.0cm 縦: 15.3cm 横: 45.0cm	1点	9676-341
342	諸宗惣代嘆願口上書		明治	2	3		縦: 17.5cm 横: 84.0cm	1点	9676-342

	資料名	摘要	和 曆				法 量		数量	資料番号
			元号	年	月	日				
343	大學達書	土御門和丸宛			2		縦: 16.2cm	横: 45.6cm	1点	9676 - 343
344	大興徳院願書	弁事御役所宛	明治	2	5	8	縦: 17.5cm	横: 91.0cm	1点	9676 - 344
345	武田信充書簡	敬陳宛			11	14	縦: 17.6cm	横: 42.0cm	1点	9676 - 345
346	武田信充書簡	御請人宛					縦: 17.5cm	横: 38.2cm	1点	9676 - 346
347	田代宗次郎・大松十郎太何書		明治	1	3	1	縦: 16.5cm	横: 124.7cm	1点	9676 - 347
348	多久謹吾上申書						縦: 17.6cm	横: 106.3cm	1点	9676 - 348
349	多田弘齊書簡				4	3	縦: 19.3cm	横: 63.7cm	1点	9676 - 349
350	達書	脇坂淡路守・森美作守宛	明治	1	5		縦: 18.1cm	横: 53.0cm	1点	9676 - 350
351	断簡						縦: 16.7cm	横: 39.8cm	1点	9676 - 351
352	辻書簡	およね宛			4	18	縦: 16.3cm	横: 30.5cm	1点	9676 - 352
353	徳川慶勝届書	弁事宛			4	28	縦: 18.2cm	横: 63.4cm	1点	9676 - 353
354	徳川慶喜嘆願書写		明治	1	2		縦: 16.3cm	横: 63.8cm	1点	9676 - 354
355	中嶋書簡	およね宛					縦: 15.7cm	横: 53.5cm	1点	9676 - 355
356	楠社建立ニ関スル達				6		縦: 17.5cm	横: 115.0cm	1点	9676 - 356
357	新納軍八其他二名届書		明治	1	2	29	縦: 16.3cm	横: 220.8cm	1点	9676 - 357
358	野口善兵衛書簡	日田県御役所宛	明治	2	4	5	縦: 16.6cm	横: 94.9cm	1点	9676 - 358
359	浜田藩家臣		明治	1	3		縦: 16.2cm	横: 142.2cm	1点	9676 - 359
360	東久世書簡案文	ハリリー・パークス アム・フォン・プラント宛	明治	1	1	24	縦: 18.0cm	横: 97.6cm	1点	9676 - 360
361	久野書簡	お米宛			2	7	縦: 18.1cm	横: 31.6cm	1点	9676 - 361
362	久松栄之助書簡	弁事御役所宛	明治	1	11	13	縦: 15.9cm	横: 54.0cm	1点	9676 - 362
363	久松栄之助書簡	弁事御役所宛	明治	1	12		縦: 15.3cm	横: 57.5cm	1点	9676 - 363
364	豊前企救関係書類		明治	2	9		縦: 17.5cm 縦: 17.6cm 縦: 17.6cm 縦: 17.5cm	横: 61.5cm 横: 75.7cm 横: 56.6cm 横: 55.0cm	4点	9676 - 364
365	姫路藩重職氏名		明治	1	3		縦: 17.3cm	横: 376.9cm	1点	9676 - 365
366	藤井希瑛書簡	於世根宛			4		縦: 16.4cm	横: 45.3cm	1点	9676 - 366
367	藤川忠猷書簡	中路老先生宛	明治	1			縦: 15.1cm	横: 60.0cm	1点	9676 - 367
368	弁事口上書				11	23	縦: 17.5cm	横: 16.0cm	1点	9676 - 368
369	某覚書		明治	1			縦: 15.7cm	横: 73.0cm	1点	9676 - 369
370	某氏書簡						縦: 17.0cm	横: 45.6cm	1点	9676 - 370
371	某書簡						縦: 17.6cm	横: 42.6cm	1点	9676 - 371
372	某書簡						縦: 15.6cm	横: 20.4cm	1点	9676 - 372
373	某書簡						縦: 16.4cm	横: 35.7cm	1点	9676 - 373
374	某書簡				1	7	縦: 15.9cm	横: 62.4cm	1点	9676 - 374
375	某書簡					26	縦: 18.3cm	横: 43.7cm	1点	9676 - 375
376	某書簡				10	3	縦: 14.2cm	横: 69.2cm	1点	9676 - 376
377	某書簡						縦: 15.8cm	横: 21.8cm	1点	9676 - 377
378	某書簡						縦: 17.5cm	横: 45.7cm	1点	9676 - 378
379	某書簡				5	22	縦: 33.3cm	横: 24.1cm	1点	9676 - 379
380	某書簡				10	14	縦: 19.9cm	横: 27.6cm	1点	9676 - 380
381	某書簡		明治	1	11	5	縦: 15.4cm	横: 55.8cm	1点	9676 - 381
382	某書簡						縦: 16.2cm	横: 55.5cm	1点	9676 - 382
383	某書簡		明治	1			縦: 18.1cm	横: 28.5cm	1点	9676 - 383
384	某書簡		明治	1	5		縦: 15.7cm	横: 131.6cm	1点	9676 - 384
385	某女書簡				10	12	縦: 14.7cm	横: 97.3cm	1点	9676 - 385
386	穆堂書簡				8	20	縦: 17.6cm	横: 77.0cm	1点	9676 - 386
387	本阿弥伊勢大掾嘆願書		明治	1	12	18	縦: 18.0cm 縦: 18.0cm	横: 113.6cm 横: 49.0cm	2点	9676 - 387
388	本阿弥伊勢大掾嘆願書		明治	2	4	7	縦: 18.0cm	横: 49.2cm	1点	9676 - 388
389	本阿弥伊勢大掾嘆願書		明治	2	2	19	縦: 17.8cm	横: 94.3cm	1点	9676 - 389

	資料名	摘要	和 曆				法 量	数量	資料番号
			元号	年	月	日			
390	問島萬次郎書簡	中路先生宛			12	1	縦: 17.0cm 横: 27.1cm	1点	9676 - 390
391	町田久成書簡				2	5	縦: 17.2cm 横: 51.0cm	1点	9676 - 391
392	水本書簡	新納宛			9	6	縦: 16.7cm 横: 32.0cm	1点	9676 - 392
393	山城屋佐七外建白書控						縦: 16.3cm 横: 23.2cm	1点	9676 - 393
394	吉井書簡	およね宛	明治	2	閏	3	縦: 17.3cm 横: 52.9cm	1点	9676 - 394
395	吉水御殿向御問杉戸筆者録						縦: 16.2cm 横: 137.6cm	1点	9676 - 395

